

2015年度 工学部電子情報フロンティア学科 教育課程表(2006年度から2011年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件 単位数														
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター																
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位															
専攻科目	基礎科目	幾何学Ⅰ	○4	何森	幾何学Ⅱ	○4	小林	微分積分学Ⅲ	○4	鈴木(友)	微分方程式	4	永野	代数学Ⅰ	2	東川	代数学Ⅱ	2	東川	34以上			
		微分積分学Ⅰ	○4	永野	微分積分学Ⅱ	○4	鈴木(友)	物理学Ⅱ	○4	田村	関数論Ⅱ	2	勝野	物理学Ⅳ	2	勝野	物理学Ⅲ	2	儀我				
		物理学概説	○4	客野	物理学Ⅰ	○4	客野	関数論Ⅰ	2	勝野	物理学Ⅲ	2	儀我										
		情報処理演習Ⅰ	○1	佐々木	物理学実験Ⅰ	○1	田村	△幾何学Ⅱ	4	村田	△微分積分学Ⅲ	4	永野										
	必修科目	フロンティア・セミナー	○2	*1	情報処理のスキルⅠ	○2	松澤	電子情報実験A	○1.5	*2A	電子情報実験B	○1.5	*2B	電子情報実験C	○2	*4A	電子情報実験D	○2	*4B	輪講(通年)	○2	*1	
					情報処理のスキルⅡ	○2	能登	情報処理のスキルⅡ	○2	*3A	回路設計のスキルⅡ	○2	*3A	電磁解析のスキルⅡ	○2	穴田	△電磁解析のスキルⅡ	2	米田	卒業研究(通年)	○8	*1	
					ユニーク演習Ⅰ	○1	豊嶋	ユニーク演習Ⅱ	○1	木下	電磁解析のスキルⅠ	○2	穴田	ユニーク演習Ⅲ	○1	穴田	△ユニーク演習Ⅲ	1	米田				
					回路設計のスキルⅠ	○2	*3A	△回路設計のスキルⅠ	2	陳	△回路設計のスキルⅡ	2	陳	△ユニーク演習Ⅱ	1	土屋	△ユニーク演習Ⅱ	1	陳				
	選択必修			情報と倫理	×2	前田								技術者倫理	×2	大西	技術者倫理	×2	大西			2以上	
		基礎科目						ナノ物性工学基礎	2	山口	電子回路基礎	2	島	情報通信メディア論	2	齊藤	ヒューマン情報処理	2	松澤				
						情報システム基礎	2	松澤	デジタルシステム基礎	2	土屋	エネルギー工学	2	松木	電子生命アウェアネス	2	山口						
						情報ネットワーク論	2	阿部(晋)	情報ネットワーク論	2	豊嶋	制御メカトロニクス論	2	新中									
選択科目	専門科目					情報数学	2	木下	電気数学	2	新中	光波電磁波	2	穴田	伝送システム	2	穴田	電気法規	2	牧野	電波法規	2	三谷
						計測工学	2	阿部	システム数学	2	(休講)	音響・超音波工学	2	遠藤	集積回路工学	2	島	通信網工学	2	加保			
												デジタル電子回路	2	島	デジタル信号処理	2	豊嶋						
												電気機器とパワーエレクトロニクス	2	渡邊	半導体工学	2	平手						
関連科目	基礎化学Ⅰ	2	亀山	基礎化学Ⅱ	2	亀山	応用数学Ⅰ	2	平田	代数学概論	2	伊東	量子物理学Ⅰ	2	西野	応用数学Ⅱ	2	平田					
	化学実験	1	岩倉	化学実験	1	岩倉	確率・統計Ⅰ	2	五明				統計物理学Ⅰ	2	客野	確率・統計Ⅱ	2	儀我					
	生物学概論Ⅰ	2	石田	生物学概論Ⅱ	2	石田						電子デバイス	2	森住	知的財産権	2	松山						
				生物学実験	1	朝倉						高電圧工学	2	執行	量子物理学Ⅱ	2	野村						
				情報と職業	2	古川										統計物理学Ⅱ	2	矢崎					

\*1:専任者全員 \*2A:山口, 阿部(晋), 世良, 陳, 土屋 \*2B:阿部(晋), 遠藤, 世良, 陳, 土屋 \*3A:遠藤, 新中, 渡邊 \*3B:遠藤, 島, 渡邊  
 \*4A:新中, 穴田, 池田, ニコデムス, 平岡, 松澤, 米田 \*4B:木下, 池田, 島, 豊嶋, 中山, ニコデムス, 能登, 平岡, 松木, 米田  
 \*5:渡邊(靖), 客野, 佐々木, 相澤, 小谷, 半揚

計94以上

12以上

【備 考】

- 印は必修科目，×印は選択必修科目を示す。
- △印は再履修授業科目を示す。

【履修要件】

- 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、基礎科目においては2年次から、選択科目においては3年次から、関連科目においては2年次から、この制限を設けない。
- 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする。（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する）。ただし、第二外国語、選択英語、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目、教職課程の「教職に関する科目」については、この制限を適用しない。
- 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。

【進級要件】

(1年次から2年次)

1年次終了までに、F Y Sの単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち28単位以上を修得した者。

(2年次から3年次)

2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち60単位以上を修得した者。

(1) 電子情報実験A・Bを含む必修科目8単位以上。(基礎科目を除く)

(3年次から4年次) [卒業研究履修資格]

3年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち100単位以上を修得した者。

(1) 電子情報実験C・Dを含む必修科目18単位以上。(基礎科目を除く)

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。またこれらの科目は各年次の履修制限単位数には含まない。

- 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							専攻科目					合 計		
	F Y S	外国 語科 目	教養系科目				共 通 科 目 合 計	基 礎 科 目	必 修 科 目	選 択 必 修	選択科目			関 連 科 目	専 攻 科 目 合 計
			キ ャ リ ア 形 成 科 目	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野					健 康 科 学 の 分 野	基 盤 科 目			
2006から2011 年度入学	2	8	2	4	4		34	34	34	2	12	12		94	128

- 共通科目についてはF Y S及び外国語のほか、人文の分野と社会の分野から各々4単位以上、キャリア形成分野から2単位以上を修得しなければならない。また、自然の分野で卒業要件にできる科目は、「自然科学論Ⅰ・Ⅱ」、「科学技術史Ⅰ・Ⅱ」、「技術論Ⅰ・Ⅱ」の科目だけである。  
外国語科目は、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。
- 選択必修科目の中から、2単位以上を修得しなければならない。
- 選択科目から次の単位を含めて24単位以上を修得しなければならない。  
(1) 基盤科目から12単位以上、専門科目から12単位以上  
ただし、下記の科目は選択科目の専門科目単位数に総計8単位まで換算できる。  
(1) 選択必修科目のうち2単位を超える科目  
(2) 必修以外の基礎科目、及び関連科目  
(3) 他学部、他学科開講の専攻科目  
(4) 同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した(必修以外)外国語科目。  
(5) 教職に関する科目(教職課程登録者を対象とする。)

教育課程における標準年次の区切線について

- 標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- 標準年次が破線(……)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。